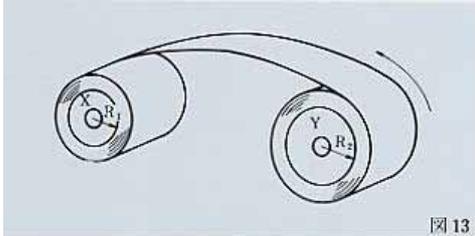
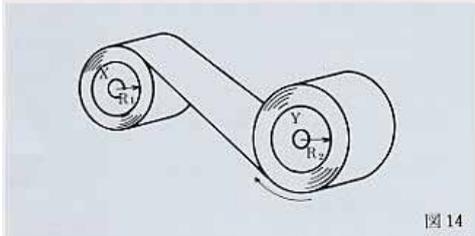
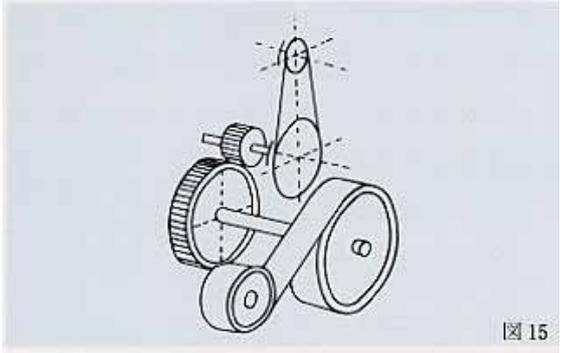


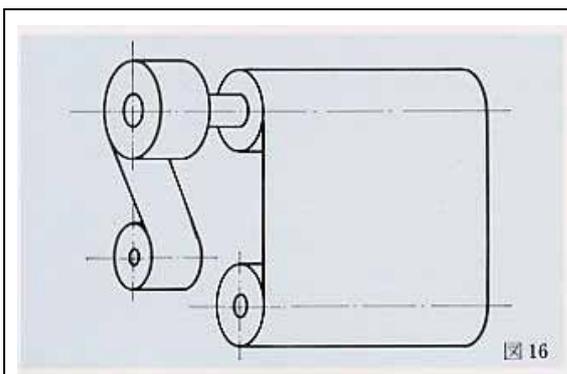
『コプリング』をモーターとして使用する場合

種類

<p>A型モーター</p>  <p>図 13</p>	<p>図 13 に示すように半径 R_1、R_2 ($R_1 < R_2$) のドラムの各軸 X、Y にコプリングを巻き連動させるもので、この場合コプリングは、X 軸に巻き取られ Y 軸を矢印の方向に回転させる事ができます。</p> <p>この方法はスペースその他の関係で特殊な場合のみ応用されます。</p>
<p>B型モーター</p>  <p>図 14</p>	<p>図 14 に示すように半径 R_1、R_2 ($R_1 < R_2$) のドラムの各軸 X、Y にコプリングを巻きつけて使用する。</p> <p>この場合、半径 R_2 の方は逆巻きとなり、コプリングは X 軸の方向に巻き取られ Y 軸に回転を与えることとなります。この型のモーターはエネルギーの保持が大きく、また一定のトルクが得られます。この方法での使用は、ストロークの長いもの、あるいは回転機構を必要とするものに応用されます。</p>

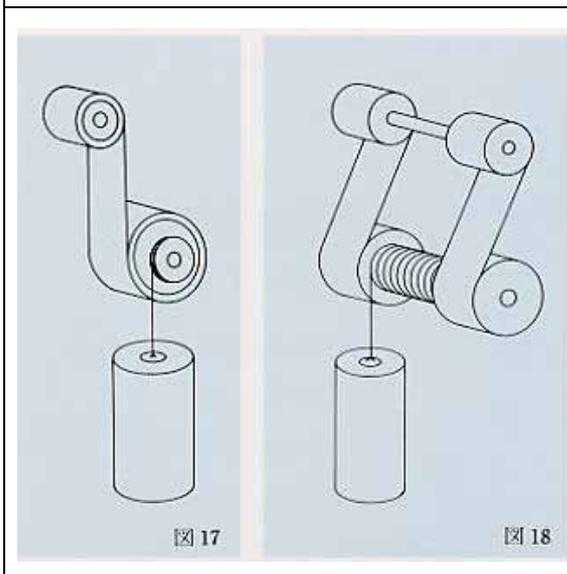
応用例

 <p>図 15</p>	<p>1. 駆動用</p> <p>ギヤ、ガバナーと連動させて使用すると、タイマー、玩具、スクリーンなどの駆動用として始めから終わりまで常に一定のトルクで回転させることができます。</p>
---	--



2. テープの巻き取り

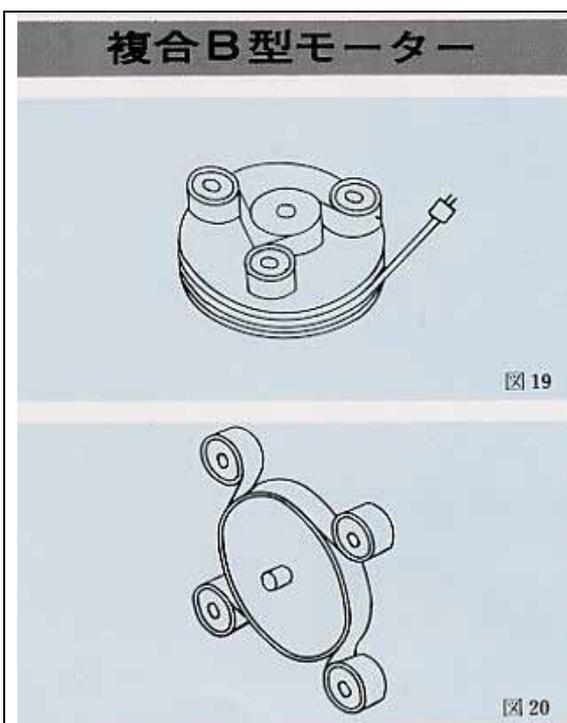
駆動軸又はギヤを使用することにより、測定機器などのテープあるいは、ワイヤーを常に一定のバックテンションをかけながら、定トルク、定荷重で巻き込むことができます。



3. 天井懸吊機器用バランサー

(ストロークの長いもの)

原形で使用し、ストロークが不足する場合には、この方法で応用しますと相当長いストロークのものにも適用できます。



複合B型モーター

図 19、20 に示すように、B型モーターを複数個組み合わせて使用すると、特に大きなトルクを得ることができます。

応用例としてはB型モーターとしての使用例のうち、特に大きなトルクあるいは長時間回転を必要とするものに使用され、長いコード、ワイヤー、ホース、テープなどの自動巻き込みには最適です。

また、直流発電機に使用することもできます。